

令和3年度教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
4	岐山高等学校

学校教育目標	教育基本法にのっとり、豊かな情操と強固な意志を備えた心身ともに健全な人物を育成するため、次の教育目標を定めてその実践を期する。 (1) 「躍進岐山」の意気と誇りをもて、(2) 全力を尽くして学業に励め、(3) 礼儀正しく思いやりのある人となれ、(4) 強健な心身をつくれ 上記、教育目標の達成を目指すとともに、理数科設置校としての本校に課せられた社会的使命や、生徒全員が進学を志していることに鑑み、その自己実現を図るよう、創造性に富んだ明るく活力ある学校づくりに努める。	
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 「知識の獲得」と「知恵への昇華」による学力の伸長を図ります。	①「やり切る」指導を徹底することでより良い学習習慣の確立と基礎・基本の定着による「知識の獲得」を目指します。 ②学習の到達度に応じた指導を組織的に行い「使えるまで高める」教科指導を通して、応用力・実践力を育成します。 ③「知恵への昇華」を目指し、科学の視点と言語活動（主体的・対話的な深い学び）を重視した授業を展開します。また、そのための授業研究や教材開発を行います。	①予習や課題、朝テストの事後指導の実施状況により、指導の在り方を評価します。 ②生徒による授業評価並びに家庭学習時間の調査より評価します。また、授業に対するアンケートでは5段階評価で4.0以上を目標とします。 ③全教科で年2回、研究授業と研究会を実施し、研究実践を行います。
2 キャリア教育を推進し、自己理解の上、自己実現達成への支援をします。	①「探究の時間（総合的な探究の時間）」を核として、計画的に配置した進路研究講座等の一連の取り組みを通じて「探究型教育システム」を推進し、生徒自ら自己と学問や社会との関わりを見つめさせます。 ②進路志望調査や各学年で実施する基礎学力確認テストにより、生徒の学習状況など実態を把握し、家庭学習の充実や進路決定の支援をします。 ③各学年で適切な時期に学年集会や進路LHRを実施することで、生徒の進路意識の高揚を図ります。	①各プログラムや行事の有効性は、生徒アンケートにより評価します。また、生徒が作成した報告書の内容等も参考とし検証します。 ②回答内容や家庭学習時間、学力到達度の変化や比較により評価します。 ③生徒の活動の様子で評価します。
3 生徒の基本的な生活態度を育成することを通して、自主的、自律的に判断して行動できる生徒を育成するとともに、支援を必要とする生徒に対して早期発見、早期対応に努め、組織的に対応します。	①自ら考え行動できる生徒を育成するために、教育活動全般において、学習活動だけでなく社会の諸問題について生徒への問い掛け、考えさせる場面を増やします。 ②学校行事の立案や運営について、生徒が中心となることができるよう支援します。 ③身だしなみ指導を始めとして、遅刻指導、授業前の日常指導を通して生活規律を整えます。 ④支援を必要としている生徒に対し、担任、学年会、特別支援教育コーディネーター、教育相談係、養護教諭や関係機関等と連携して組織的に対応します。	①生徒自らが、委員会やホームルーム活動等を計画的に企画・運営できたか、生徒の活動状況で評価します。 ②生徒自らが、各行事の立案や運営を行えたか、生徒の活動状況で評価します。 ③生徒の身だしなみが整い、生徒自身が生活規律を自発的に正すことができるようになったか、生徒の姿で評価します。 ④生徒理解のための情報連携がなされ、未然防止、早期対応がなされたかを生徒のその後の状況等で検証します。
4 家庭と学校との情報伝達を円滑にし、一層の連携を図ります。	①PTA役員を中心に職員と連携して、PTフォーラムを企画・運営します。また、保護者懇談会を通じて家庭と学校との一層の連携を図ります。 ②家庭と学校との情報伝達を円滑にするために、各種通信及び学校ホームページやメール配信システムなどを活用し、学校の様子や生徒の活動の様子等の情報を発信します。	①学校と保護者との意思疎通が図れたか、アンケート等により検証します。 ②学校からの情報を伝えると共に、生徒の活動の様子を紹介することができたか、アンケート等により評価します。